

第54号 社協だより

発行日：平成30年6月29日
発行所：社会福祉法人喜界町社会福祉協議会
〒891-6201
喜界町赤連22番地（老人福祉センター内）
TEL 65-0887・0449
<http://kikai-shakyo.org/>

「グループホームがじゅまる」の新たな船出

「グループホームがじゅまる」経営の委譲について

平成12年に介護保険法が施行され、行政や社会福祉法人のみが行っていた介護が措置制度から多様な設置主体によって提供されるようになりました。そんな社会情勢の中「グループホームがじゅまる」は平成15年に開設され、その象徴的な存在でした。志戸桶集落の協力も得られ、9床の入所施設を構え、家庭的な雰囲気のある地域に根差したサービス提供を行い、平成18年には共用型認知症通所介護（定員3名）の事業を追加して現在に至っています。

しかし、平成28年11月代表の早川百合枝氏が体調を崩して入院、現在もリハビリ、加療が必要となり、また職員の高齢化もあり慢性的に介護職員の不足に陥る可能性が大きく、法令に定められた職員配置ができなくなることが予測出来ることから、事業の廃止を決断されました。

「がじゅまる」は9名の入所者が生活していることから継続する必要があること、また本町の認知症介護の中核として必要不可欠な施設であることから「がじゅまる」の経営を有限会社孝誠から社会福祉協議会に委譲することになりました。平成29年の11月から4回に渡り、名義変更手続きや職員処遇について協議を重ね、管理者以下全職員を継続採用することで4月28日に契約が成立致しました。

6月1日から社会福祉協議会が「がじゅまる」を運営するにあたり、社会福祉協議会の方針として、次のことを掲げたいと思います。従来から培ってきた「私たちがじゅまるは、心から安心できる居場所と希望や自信を与えられるケアを目指していきます」の理念をそのまま継続すること、介護サービスの質が低下しないように職員研修を行うこと、社協の実施する地域福祉事業との連携を図ること、関係機関との連携を図ることです。社協の「地域福祉推進の中核」という使命を果たすために、大きな戦力になりうる「グループホームがじゅまる」を今後もよろしく願いいたします。

開設者 界田満仁



平成30年度 喜界町社会福祉協議会 事業計画

運 営 ・ 管 理			
事業名	対象者	内 容	備考
①理事会	理 事	事業報告・決算、事業計画・予算、補正	5回
②評議員会	評 議 員	事業報告・決算、事業計画・予算、補正	3回
③福祉センター運営・管理	福祉団体	福祉団体及びボランティア団体への施設の貸出及び施設の管理	

地 域 福 祉 ・ 在 宅 福 祉			
事業名	対象者	内 容	備考
①長寿会スポーツ大会の協力	高 齢 者	長寿会連合会スポーツ大会の運営協力	
②ゲートボール大会の協力	高 齢 者	ゲートボール大会の運営協力	
③車いす等介護用品の無償貸出	高 齢 者 ・ 障 害 者	車いす・歩行器等の介護用品の無償貸出（最大1カ月）	
④在宅福祉アドバイザー及びネットワーク推進員研修会	A D ・ 協 力 員 等	地域見守りネットワークを構成するアドバイザー及び協力員の研修を行う	1回
⑤住民座談会の開催	集 落 単 位	地域の福祉課題や社協の事業についての説明会の開催	随時
⑥地区連絡会の開催	関 係 者	見守りネットワークの構築及び情報交換を行う	随時
⑦生活困窮者自立相談支援事業（くらし・しごとサポートセンター）	個 人	生活に関わる様々な相談を受け付け、必要な支援を計画的に行います（自立相談支援・就労準備支援・一時生活支援・家計相談支援・学習支援）	
⑧福祉有償運送サービス	登 録 者	予め登録された移動困難者に病院等への移送支援を行います	
⑨生活福祉資金貸付	地 域 住 民	低所得世帯及び障害者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助・指導を行う	
⑩法外援護資金貸付	地 域 住 民	低所得世帯に対し、緊急附則の出費等に要する資金の貸付を行い、一時的困窮の救済を行う	
⑪ふれあいいいききサロン	高 齢 者	指導員を派遣し毎月1回開催 ゲームや体操・歌や踊りで、介護予防・健康維持を図ります	26 集落
⑫福祉サービス利用支援事業	判断力低下した方	福祉サービスの利用支援、通帳（金銭管理）や書類を預かり、計画的に払い出し・保管します	
⑬無料職業紹介事業	地 域 住 民	求人側と求職側との間の調整を無料で行う	

ボランティア関係

事業名	対象者	内容	備考
①ボランティア連絡協議会	関係団体 個人	ボランティア関係者が一堂に会し、情報提供や意見交換を行い、活動の活性化を図る	1回
②ボランティア講座の開催	地域住民	町づくりとしてのボランティア活動の人材を育成するために、講演会や体験活動を行う	3回
③ボランティア登録・斡旋	地域住民	予め活動の内容を登録してもらい、受け手と担い手の調整を行う	
④ボランティア保険の加入促進	地域住民	ボランティア活動の損害保険受付（活動保険・行事用保険）	
⑤児童・生徒のふれあいボランティア活動事業	児童・ 生徒	学校外での地域行事やボランティアでポイントを貯めよう（10ポイントで認定証がもらえます）	

介護保険事業

事業名	対象者	内容	備考
①居宅介護支援事業	要支援・ 要介護	介護支援専門員が、適切な居宅介護支援（ケアプランの作成・サービスの調整）を提供します	
②訪問介護事業	要支援・ 要介護	介護福祉士又は訪問介護員養成研修修了者が身体介護又は家事援助を提供します	
③訪問入浴介護事業	要支援・ 要介護	自宅において移動入浴車による入浴介助を提供します	
④福祉用具貸与事業	要支援・ 要介護	電動ベッドや車いす、歩行器等の貸出を行います	
⑤福祉用具販売	要支援・ 要介護	ポータブルトイレやシャワーチェア等の介護用品販売を行います	
⑥小規模多機能ホーム十五夜	要支援・ 要介護	通所を中心に、泊り、訪問の介護を適切に組み合わせ提供します	
⑦グループホームがじゅまる	要支援・ 要介護	認知症により介護が必要な方に安心と尊厳ある生活が営むことが出来る様、入所や通所を提供します	入所 9床 通所 3名

障害福祉サービス

事業名	対象者	内容	備考
①居宅介護事業	障害者等	介護福祉士又は居宅介護従業者が身体介護及び家事援助を提供します	
②相談支援事業	障害者等	相談支援専門員を配置し障害者（児）の方の相談・支援を提供し、サービス計画を作成します	



その他			
事業名	対象者	内容	備考
①共同募金事業への協力	地域住民	共同募金・歳末助け合い募金活動に対する地域住民の理解と協力を得る	
②日本赤十字社事業への協力	地域住民	災害救援物資の配布及び見舞金の給付 会費募集や、災害義援金募集を行う	
③苦情解決に関する第三者委員会の開催	サービス利用者等	第三者委員を3名配置し、福祉サービスについての利用者からの相談や苦情解決にあたる	
④広報誌の発行	地域住民	広報誌「社協だより」の発行を行う（全戸配布）	年4回
⑤行政無線の広報	地域住民	いきいきサロンや、災害義援金の募集について	
⑥関係福祉団体への助成・連絡協調	関係団体	長寿会連合会、民生委員・児童委員協議会、身体障害者協会、母子・寡婦福祉会、手をつなぐ育成会、子ども支援ネットワーク「めばえ」	

平成 30 年度一般会計収支予算

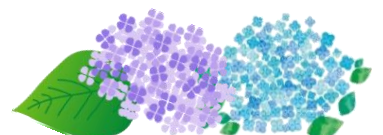
収 入

支 出

(単位：千円)

科 目	金 額
会 費 収 入	890
寄 付 金 収 入	1,500
経常経費補助金収入	3,047
共同募金配分金収入	1,010
受 託 金 収 入	10,903
貸 付 事 業 収 入	300
事 業 収 入	5,297
介 護 保 険 収 入	166,903
障 害 福 祉 サ ー ビ ス	2,020
そ の 他 の 事 業 収 入	250
受 取 利 息 配 当 金 収 入	70
そ の 他 の 事 業 収 入	100
その他の活動による収入	0
前 期 繰 越	8,100
収 入 合 計	200,390

科 目	金 額
人 件 費 支 出	145,415
事 業 費 支 出	23,264
事 務 費 支 出	16,500
共同募金配分金事業費	1,010
貸 付 事 業 費 支 出	300
助 成 金 支 出	120
負 担 金 支 出	220
支 払 利 息 支 出	85
雑 支 出	30
借 入 金 償 還 支 出	1,070
固 定 資 産 取 得 支 出	8,100
その他の活動による支出	4,276
支 出 合 計	200,390



管理者変更のお知らせ

平成30年4月1日より

小規模多機能ホーム 十五夜管理者

向 アキミ ⇒ 柳 早苗

社協の居宅介護支援事業所管理者

柳 早苗 ⇒ 大友 勝仁に変更になりました。



小規模多機能型ホーム☆十五夜☆（旧坂嶺小学校）

「静かな環境の中でその人らしく」

をスローガンに関係機関と綿密な連携を図り、

島内の高齢者を対象に「思い」や「願い」を大切にし、

通い・泊まり・訪問の3つの機能を組み合わせた

個別性あるケアプランを作成してサービス提供をしています。

住み慣れた島で、安心安全に暮らし続けることができるように地域や家族との関わりを深め社会参加や地域との交流機会を増やし、「暮らしやすい地域」を共に考えて、作っていかれたらと思います。



社協の介護支援専門員（ケアマネジャー）は
大友（上嘉鉄東）
盛澤（荒木）
向（佐手久）の3人となります。

身近な高齢者に関しての心配事やご相談等がございましたら、社協・居宅介護支援事業所（0997-55-3032）までご連絡ください。

いつでも十五夜の見学大歓迎ですので、
近くにお越しの際にはお立ち寄りください。
柳 早苗（荒木）



社会福祉協議会(日赤喜界町分区) から

義援金のお礼

平成29年7月11日～12月25日

「平成29年台風18号災害」義援金箱を役場ロビーと社会福祉協議会ロビーに設置

平成29年4月1日～平成30年3月28日

「東日本大震災」「熊本地震災害」義援金箱を社会福祉協議会ロビーに設置

ご協力頂いた義援金は下記の通りです。

【平成29年台風18号災害義援金】

役 場	11,895円
社会福祉協議会	1,063円
義 援 金 総 額	12,958円

【東日本大震災義援金】

社会福祉協議会	4,637円
---------	--------

【熊本地震災害義援金】

社会福祉協議会	7,550円
---------	--------

*ご協力頂いた義援金は、平成29年12月26日・平成30年3月30日に日本赤十字社鹿児島県支部へ送金いたしました。送金した義援金は被災地県に設置される災害義援金配分委員会を通じて被災地へ配分されます。

皆様のご協力に感謝いたします。



また、平成30年度6月8日に「喜界町文化協会」より被災地チャリティーショーでの義援金として、東日本大震災義援金へ50,121円、熊本地震災害へ50,121円のご寄付を頂きました。こちらは改めて送金させていただきます。ありがとうございました。

荒木集落

炊き出し訓練を実施



平成30年4月15日 荒木サロン(旧荒木幼稚園)にて「荒木集落炊き出し訓練」を実施しました。荒木集落民生委員から、炊き出し訓練をぜひ集落でやってみたいとお話しを頂いたことがきっかけで、ともしびの会の皆様に主体となって準備して頂き、社協が講話とお手伝いをする形で開催しました。

当日は小学生からお年寄りまで合わせて66名が参加し、炊き出し訓練と災害の備えについての講話の後、訓練で炊いたごはんとお味噌を試食しました。ハイゼックスという特殊な袋でごはんを炊くのは初めての方も多かったのですが、「簡単にできておいしい」と好評でした。集落内での訓練は初めてでしたが、集落一丸となって災害について考えるいい機会になったのではないかと思います。大規模災害が発生したら、まず必要になるのは集落の力です。皆さんの集落でも一度災害について集落全体で考える機会を作ってみませんか？



児童・生徒のふれあいボランティア活動

5月2日喜界小学校で8名、5月15日喜界中学校で2名、
5月29日早町小学校で2名の児童・生徒にボランティア活動
認定証が交付されました。

✿ 認定者紹介 ✿

喜界小学校

2年 向井 恵賀
3年 若松 暖 柳 裕也(☆2)
4年 梅田 華音 嶺 日茉莉(☆2) 向井 優賀(☆2)
6年 市山 綾乃 森 優芽(☆3)

早町小学校

4年 中村 璃海(☆2)
6年 中村 陽菜(☆2)

喜界中学校

1年 岡本 翼(☆2) 柳 聖蘭(☆2)

敬称略



(☆2)の表記がある7名は
20ポイント達成。
喜界小6年生の森優芽さんは
30ポイント達成。
初めての30ポイント達成者です!
おめでとうございます☆.*



✿ 交付式の様子 ✿



喜界小学校



早町小学校



喜界中学校

✿ 保護者・地域の皆様へ ✿

児童・生徒のふれあいボランティア活動事業は、次代を担う子どもたちのボランティアに取り組むきっかけづくりと活動の定着・継続を図り、社会参加への理解と関心を高め、福祉のこころを育むとともに、みんなで支え合う住みよいまちづくりにつなげることを目的としています。

学校外でのボランティアが対象となりますので、集落内での美化作業や行事などの際には、子ども達への声掛け等のご協力をお願いいたします。また、スタンプの押印を育成会会長さん、区長さんをお願いしています。問い合わせ等ございましたら、担当までご連絡ください。

担当：三田美



喜界・くらししごとサポートセンター 出張相談しています

くらし・しごとサポートでは、生活の困り事や悩みについて、一緒に考え、解決・自立に向けた支援を行っています。社会福祉協議会内で常時相談を受け付けていますが、買い物帰り等に立ち寄れるように出張相談所を開設しました。

毎週金曜日の9時～17時は鹿児島銀行前の瀧岡ビル内に相談員がいます。



↑
場所はこちら
← **目印はこの看板**

看板が出ている時は気軽にお立ち寄りください。

